

# 阪急京都線・千里線連続立体交差事業 崇禅寺駅付近の新しいイメージ図が完成!

## 阪急電鉄京都線 崇禅寺駅付近完成イメージ図



阪急京都線・千里線連続立体交差事業は、鉄道の高架化により、区内16の踏切を除却し、交通の円滑化と安全の確保を図り、地域分断を解消、地域の活性化を図る事業であり、これに伴い、東淀川区のまちづくり、さらには本市北東部の発展に大きく寄与する、非常に重要な事業であります。

平成9年に事業認可を取得後、用地取得に着手し、当初の予定では、平成13年度工事着手、平成21年度高架切替、

平成24年度事業完了の予定でしたが、平成15年度に事業期間を延ばし、平成29年度高架切替、平成32年度事業完了の予定となっていました。大阪市と阪急電鉄から事業をさらに7年延期せざるを得ない現状の報告がありました。(高架切替平成36年度・事業完成平成39年度)

連続立体交差事業の事業期間延伸について、平成27年10月5日の建設消防委員会で、事業期間延伸の原因や今後の対策などを集中して質疑を行いました。詳細をご希望の方は、市政報告新聞第24号、または私のHPに掲載いたしておりますのでご覧くださいませ様宜しくお願ひ申し上げます。

1日も早い完成をめざしてまいりますので、皆様方にご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

詳細は、阪急京都線・千里線連続立体交差事業に関する市政報告新聞をご覧ください



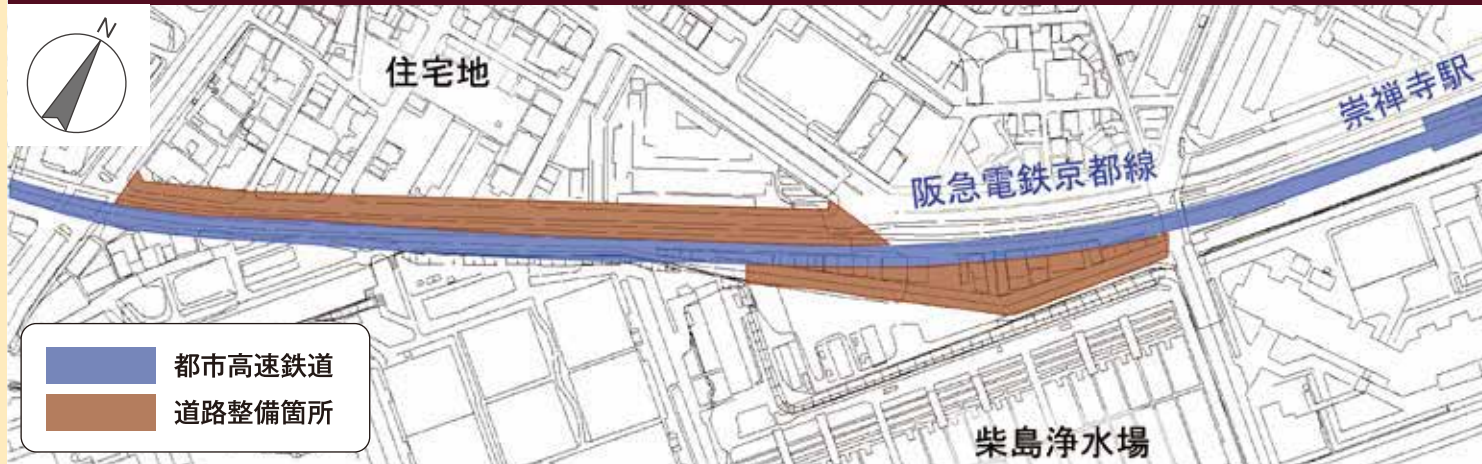
[http://www.tokoda.jp/pdf/panfu\\_24.pdf](http://www.tokoda.jp/pdf/panfu_24.pdf)



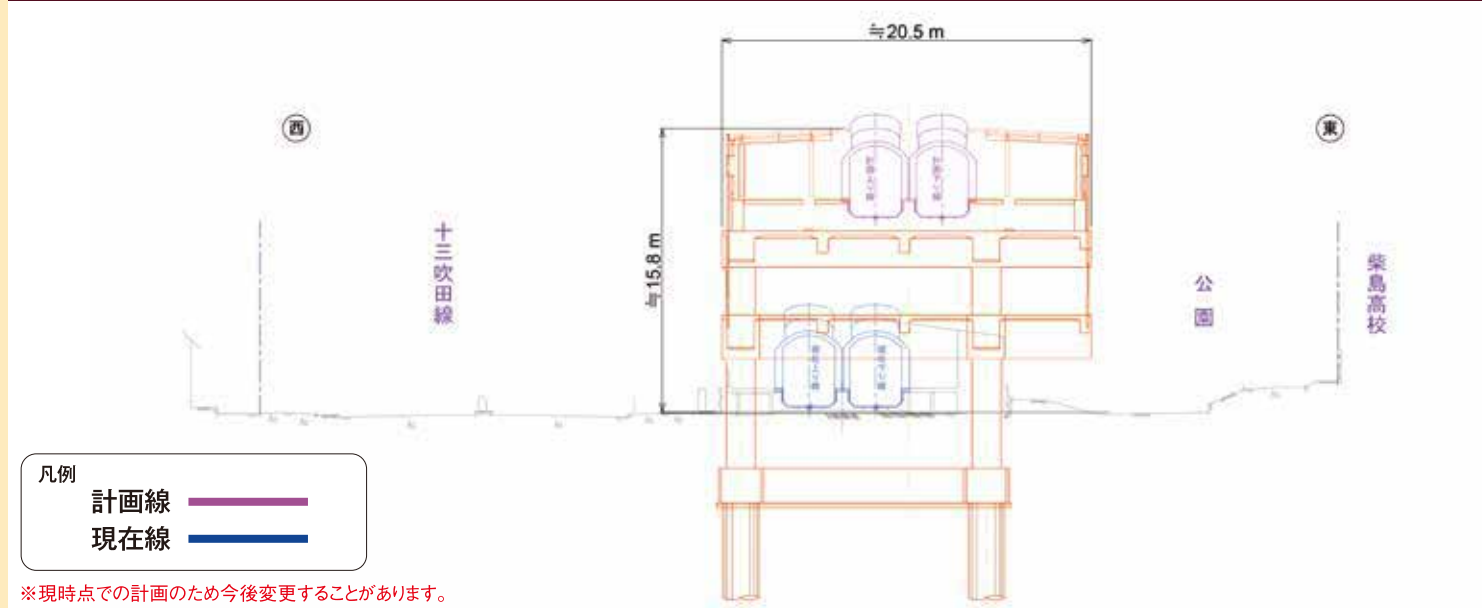
平成27年10月5日 建設消防委員会で集中質疑をおこなう床田正勝議員

大阪市議員 床田正勝

# 道路整備箇所 概要図



# 京都線崇禅寺駅付近計画 断面図



**平成27年10月5日の  
建設消防委員会で  
床田正勝議員が  
大阪市に要望をおこなった項目**

- 阪急電鉄とともに、しっかりと丁寧な説明
- 周辺のさらなる交通安全対策や環境対策の実施
- 事業期間の短縮を図り、一日も早い高架への切り替え・事業の完成
- 利用可能となった高架下から順次暫定的に駐輪場などへの利用
- 高架切替後の本格的な高架下利用を、地元利用できる公共的な施設設置にむけ鉄道事業者とともに検討を開始



今後の対策	工期管理	安全対策	地元対策	夜間工事対策	放置自転車対策
	施工方法の見直しなどの改善を行い、事業期間の短縮に最大限取り組む	交通安全、特に朝夕の学童の通学にできる限りの対策に取り組む	阪急電鉄とともに町会を中心に地域ごとに説明方法を調整し、誠意をもって対応	特に周辺環境への負担軽減を徹底	高架下部分を暫定的に駐輪場にするなど、阪急電鉄とともに一層の駐輪対策に取り組む

10月5日の建設消防委員会の答弁より



市政のご相談は

## とこだ正勝 事務所

〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2-17-13  
 TEL 06-6322-1631 FAX 06-6322-1641  
 mail : tokoda@sea.plala.or.jp

阪急淡路駅下車  
東淡路商店街を南へ徒歩3分